

週間漁海況情報—第1号

平成24年1月10日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

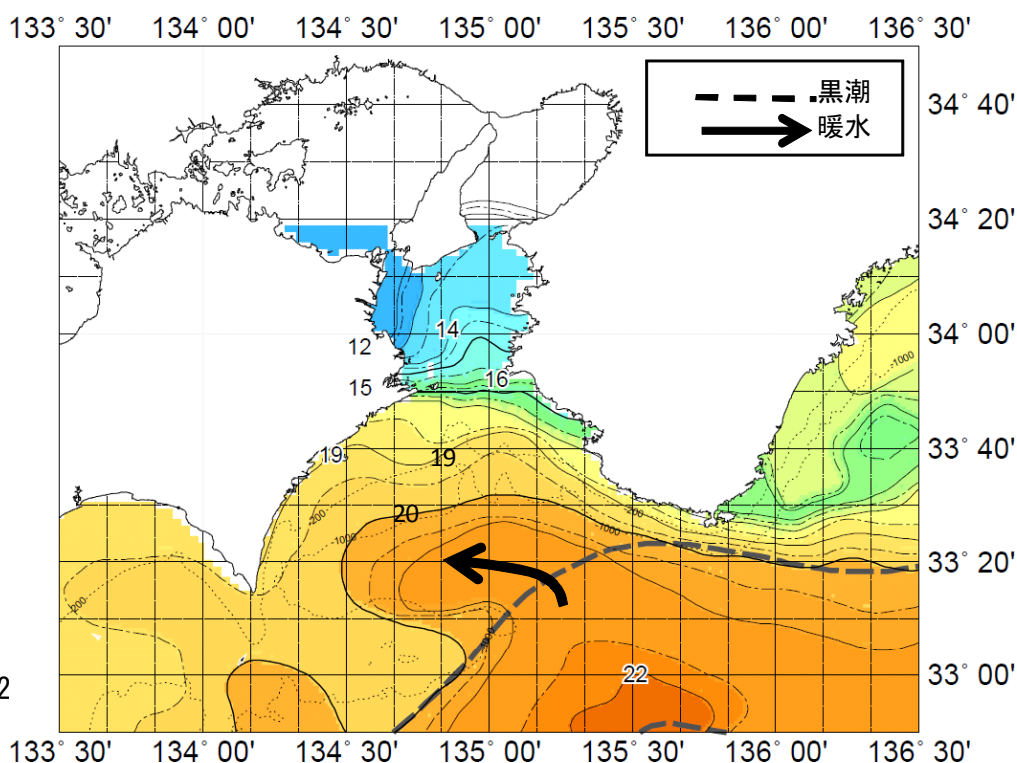
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.1.10）を示した。

黒潮は、潮岬沖で接岸、土佐湾沖から紀伊水道外域で小蛇行の一部が東進している。小蛇行の東端が室戸岬沖を通過中であるため、室戸岬沖でやや離岸している。

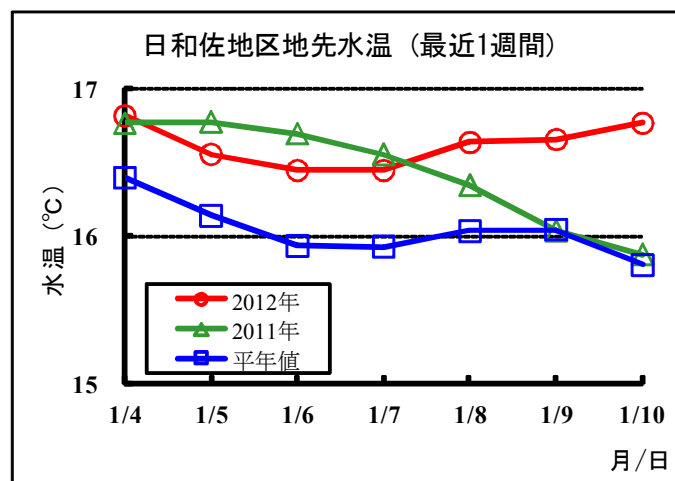
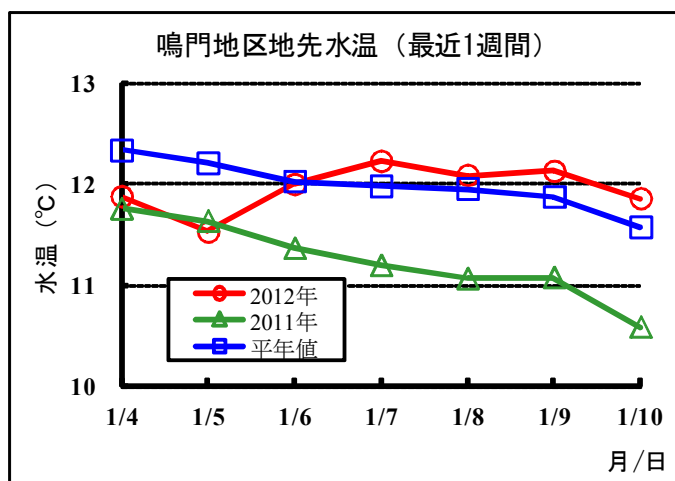
黒潮本流の表面水温は、20～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11～12℃台、紀伊水道で11～15℃台、海部沿岸で16～19℃台である。

黒潮が室戸岬沖で離岸し、潮岬沖で接岸した影響から、紀伊水道外域では、和歌山県側から海部郡下灘に向け強い暖水流入がある。このため、海部沿岸上灘から下灘にかけて、18～19℃台の暖水に覆われている。また、海部沿岸では、上り潮になっている。

内海系水と外海系水の潮境は、蒲生田岬から和歌山県田辺市沖にかけて確認できる。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の11.5～12.2℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の16.5～16.8℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の16.8～18.2℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で中主体にアマダイが0.2トン（1日1隻当たり13kg）、大主体にサバフグが0.9トン（同31kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でアオリイカが1.3トン（同39kg）、スズキ類が0.2トン（同18kg）、中主体にメジナが2.2トン（同441kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で中主体にアオリイカが0.4トン（同144kg）、小小主体にシイラが1.6トン（同530kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大・中主体にアオリイカが0.7トン（同9kg）、メジロが0.2トン（同10kg）、紀伊水道でサワラが0.2トン（同19kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 1月2日～1月8日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	17	221	13	中主体
		サバフグ	29	896	31	大主体
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	33	1,284	39	
		スズキ類	12	214	18	中主体
		メジナ	5	2,205	441	中主体
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	3	433	144	中主体
		シイラ	3	1,589	530	小小主体
		アオリイカ	79	722	9	大・中主体
釣り	紀伊水道	メジロ	23	219	10	
		サワラ	11	213	19	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き黒潮系暖水の影響を受ける見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の11℃台、日和佐地先は「やや高め」の16℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年1月3～9日の海部沿岸では、延縄で大主体にアマダイが0.3トン、カワハギが0.7トン、サバフグが0.6トン、小型定置網でアオリイカが1.8トン、大型定置網で大・中主体にアオリイカが0.3トン、中主体にカワハギが0.8トン、大主体にスルメイカが0.2トン、中主体にヒラソウダが0.2トン、釣りで大主体にアオリイカが1.0トン、タチウオが0.5トン水揚げされていた。